

活動名：第7回福島民報杯スポ少サッカー岩根大会

日 程：令和元年9月14日~15日

会 場：本宮総合運動公園

参 加：E4B（11名）

帯 同：初日 設楽コーチ、二日目 大森コーチ

結 果：4位（7チーム参加）

VS 安積第三●

VS 本宮○

VS ブリジャン●

VS アーレA●

VS 岩根○

VS アレグリア○

報 告：大森コーチ（設楽コーチ）

今回U10は2チーム参加となりリフティングの回数70回未満の記録者で分けて参加しました。

結果の示す通り厳しい戦いでしたが、選手一人一人を見れば自分の持てる力を精一杯出して戦ってくれましたと思います。

DFの選手も前線まで飛び出しシュートを決める、FWの選手も前線から相手からボールを奪いに行きシュートを決める場面も見られ、試合終了まで諦めずに全力で戦ってくれました。素晴らしい事だと思います。最後まで全力でプレーする事で多くの事を感じ、学びそして成長する事ができると思います。

そして試合を重ねる度に自分の思ったプレーも多く出せるようになって来ましたね。もっともっと良いプレーが出せるように練習を頑張り自分達の楽しいプレーが出来るように今後も取り組んで欲しいです。

その為には試合を通して感じた事を幾つか挙げたいと思います。

#### 基本技術

ボールを運ぶ・止める・蹴るサッカーの基本動作ですが、もっともっと向上しなければならぬと思いました。

思い通りにボールを扱えるように沢山ボールに触れることが大事で、それが日々の個人のリフティング練習です。やはり、リフティングは個々に頑張る技術であり、練習するためには多くボールに触れるので、自然にボール扱いは身につきます。

この日々の努力をしているのか、していないのかで6年生までに大きく差が出てしまうので、今回のBチームに選ばれた子たちもいずれはどこかの大会でAチームに選ばれるように頑張りたいと思います。

また、ボールをしっかりと蹴ることができていなかったと思います。これも日々の個々の練習になり、足首を固めて蹴り込む力が必要なので、練習前後や練習外での蹴

る練習にチャレンジして欲しいと思います。

#### DF（守り）

足先でボールを奪おうとして簡単に交わされる場面が見受けられました。一人抜かれる事によって不利な状況が生まれ失点する可能性が高くなります。足先だけのアタックではなく、体を相手に入れてDFが出来るように練習していきましょう。

試合の合間にコーチングして、試合を重ねるごとに戦い方がわかってきていました。他チームは試合で技術を磨こうとしますが、アーレでは基礎の技術に特化していますので、しっかりと個々の技術を磨いて、今後の大会に挑んでいきたいと思います。そうすることで、次の中学のステージで活躍できる選手になり、先輩たちもこのアーレのプログラムを通して活躍してくれていますので、E4Bチームの選手たちも諦めずに練習を頑張ってもらいたいと思います。

以上が大会で感じた事です。  
これからの成長を期待してます！

2日間応援して頂きましたご父兄の皆様有り難うございます。  
最後まで諦めずに全力で戦ってくれました選手達を褒めて挙げて下さい。  
これからも応援、ご協力の程宜しくお願いします。

コーチ：大森（設楽）





